

第 3 節 広報課

〔総括概要〕

広報課の主な分掌事務は、広報業務、広聴業務、シティプロモーション業務及びマスコットキャラクター活用業務である。

広報業務については、市民への市政情報の提供及び市外に向けての情報発信を目的として、広報紙の発行、公式ホームページ等への掲載、報道機関への情報提供等、積極的な広報活動を展開した。

広報紙については、紙面の充実を図りながら、毎月 1 回発行した。また、ホームページの内容の充実をはかるとともに、SNS を活用した広報活動として、公式 X（旧 Twitter）及び公式 Facebook による広報を行った。更に、栃木市コミュニティ FM「FM くらら 857」を活用し、身近な地域情報や災害・防災情報の配信を行った。

広聴業務については、それぞれの地域ごとのニーズや意見等を市の施策に活かすとともに、本市の進めるまちづくりについて理解を深めてもらうことを目的として、まちづくり懇談会ふれあいトークを開催し、市政に関する意見、提案を広く求めた。

また、少子化対策の一環として、若者や子育て世代を対象に、身近な子育ての不安や課題、あるいはニーズなどを把握するとともに、いただいたご意見等を少子化対策、子育て施策に活かすことを目的として、「若者世代と市長との意見交換会」及び「子育て世代と市長との意見交換会」を実施し、各世代が抱える課題の洗い出しや、認識の共有を図った。

シティプロモーション業務については、平成 28 年度に作成した栃木市シティプロモーション計画「Tochigi City Promotion Design」の第 3 期行動計画「Tochigi City Promotion Creation 3rd」の策定と、それに伴うシティプロモーションアンケートを実施した。また、令和 5 年度は栃木県誕生 150 年の節目の年であったため、栃木県発祥の地としてのプロモーションを実施するため、PR 冊子「The Origin of Tochigi 栃木県発祥の地 栃木市」、のぼり旗を作成し、設置するとともに、小学生向けの講座「とちぎ市の歴史を学ぼう！『栃木県発祥の地 栃木市』」を開催した。さらに、市内外に太平山の山歩きを通して市の魅力を認識してもらうことを目的として「とち介山歩きラリー in 太平山・晃石山・馬不入山」や「#栃木市山歩きフォトコンテスト」も開催した。

マスコットキャラクター活用業務については、平成 26 年 4 月 5 日に誕生した栃木市マスコットキャラクター「とち介」を広く PR することで、市民の一体感の醸成や本市の知名度の向上に努めた。また、とち介の派遣業務やデザイン申請の受付及び承認のほか、とち介を活用した自主企画を行い、積極的に本市の情報発信に努めた。

広報広聴係

1 広報業務

(1) 広報紙等による広報

市政全般について掲載した広報紙を、特集記事の強化など内容の充実を図りながら毎月発行し、市政のPRに努めた。

ア 広報とちぎ

- ・発行回数 定期12回（毎月1回）
- ・発行部数 53,000部
- ・仕様 A4判（4色フルカラー・32頁）

イ 広報とちぎ点字版

- ・発行回数 定期6回（2か月に1回）
- ・発行部数 24部
- ・仕様 B5判点字用紙（約30ページ）

ウ 声の広報とちぎ

朗読ボランティア「あかり」及び音訳グループ「いずみ」の協力を得て発行

- ・発行回数 定期12回（毎月1回）
- ・仕様 CD・SDカード・カセットに音声収録

(2) ホームページによる広報

平成30年度にリニューアルを行ったホームページの機能を活かしながら、市政情報やイベント、観光案内、生活ガイドや災害情報等の内容の充実化と積極的な市内外への発信を行った。

- ・アクセス件数（ページビュー数）7,859,349件

(3) SNSを活用した広報

SNSによる広報を行うことで、多様な媒体を通じての情報発信強化に努めた。

- ・投稿内容 行政情報、観光情報、災害情報等
- ・投稿数 Facebook 435件 X（旧Twitter） 801件

(4) テレビ・ラジオ等による広報

ア CATVコミュニティチャンネル

広報とちぎの内容や市政情報等について、ケーブルテレビ（株）に番組制作を委託し、同社のコミュニティチャンネル（デジタル111チャンネル）で放送した。

主な番組

- ・Report Tochigi

職員による市政情報発信番組として、イベント情報や市政情報の発信を行った。併せて、市内施設の紹介も実施した。

5分番組で、月毎にテーマを変えて放送した。（1日3回程度放送）

- ・生活文字情報

文字情報を全画面で表示する3分番組として、1日6回、毎日放送した。

- ・エリア便

イベント等の告知情報で、毎週月～木曜日に約1分間放送した。

- ・新春特別番組「新年のご挨拶／テレビ年賀状」

市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

15分番組で、1月1日（月）～7日（日）に放送した。

イ とちぎテレビ

市政のPRを行うため、（株）とちぎテレビに番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

- ・新春特別番組「2024年 わが街発！」

30分番組のうち10分間で、1月1日（月）、3日（水）に放送した。

ウ 栃木放送（C R T）

市政のPRを行うため、（株）栃木放送に番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

- ・新春特別番組「新しい年を迎え栃木市長に聞く」

10分番組で、1月1日（月）、1月2日（火）に放送した。

エ エフエム栃木

市政のPRを行うため、（株）エフエム栃木に番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

- ・2024 栃木市長新春挨拶CM

60秒CMで、1月1日（月）～15日（月）の間に10回放送した。

(5) コミュニティFM

栃木市コミュニティFM「FMくらら857」を活用し、災害情報・防災情報の配信や、身近な地域情報を発信することで、市民が豊かで安心して暮らせるまちづくりの推進を図った。

ア 市の広報番組

- ・「とち介のHAPPY TOWN」 平日の11時～11時55分
- ・インフォーマーシャル 市からのお知らせを生放送で、毎日4回放送した。
- ・CM 市からのお知らせを録音し、毎日6回放送した。

イ 災害放送

- ・災害発生時に備えるため、毎週木曜日11時に緊急割込み放送の試験放送を行った。

(6) 報道機関等への情報提供

ア 記者会見

- ・定例記者会見 毎月1回
- ・予算記者会見 年1回
- ・臨時記者会見 随時(令和5年度1回)

イ 市政情報の提供（FAXにより随時）

- ・情報提供件数 547件

(7) 広報活動推進員による活動

各課で1名広報活動推進員（庶務担当係長）を選任し、広報活動の円滑な事務を行うための広報活動推進員研修会を実施した。

- ・2月8日（木）（参加者58名）

2 広聴業務

(1) まちづくり懇談会ふれあいトーク

市長をはじめとする市執行部が、市民の市政に対する意見、提案等を直接聴くことにより、課題等を共有し、市政に反映することを目的に実施した。

また、市の重要施策を市長等から直接市民に説明することにより、事業の周知を図った。

ア 懇談会

・ 栃木地域

実施日	出席者（人）	会場
7月25日（火）	77	国府公民館
7月27日（木）	91	寺尾公民館
8月 1日（火）	63	皆川公民館
8月 3日（木）	60	栃木市市民交流センター
8月 7日（月）	50	栃木市市民交流センター
8月 9日（水）	51	栃木市市民交流センター

・ 大平地域

実施日	出席者（人）	会場
6月29日（木）	54	大平公民館
7月 4日（火）	37	大平公民館

・ 藤岡地域

実施日	出席者（人）	会場
6月30日（金）	50	藤岡文化会館

・ 都賀地域

実施日	出席者（人）	会場
7月10日（月）	65	都賀公民館

・ 西方地域

実施日	出席者（人）	会場
7月13日（木）	39	西方総合文化体育館

・ 岩舟地域

実施日	出席者（人）	会場
7月20日（木）	95	CITYGYM&SPA 遊楽々館

(2) 若者世代と市長との意見交換会

若者世代を対象に、まちづくりの課題、あるいはニーズなどを把握するとともに、若者ならではの意見等をまちづくり施策に活かすことを目的として実施した。

実施日	出席者（人）	会場
10月22日（日）	22	栃木市市民交流センター

(3) 子育て世代と市長との意見交換会

少子化対策の一環として、子育て世代を対象に、身近な子育ての不安や課題、あるいはニーズなどを把握するとともに、いただいたご意見等を少子化対策、子育て施策

に活かすことを目的として実施した。

実施日	出席者（人）	会場
11月19日（日）	18	栃木市市民交流センター

(4) 市政メール箱（電子メール）

インターネットを利用した広聴活動として、ホームページ内に電子メールによる投書窓口「市政メール箱」を設け、投書受付を実施した。

・件数 246件

(5) 投書箱

本庁及び各総合支所に投書箱を設置し、投書受付を実施した。

・件数 45件

(6) 郵送及びFAXによる市政に関する意見の受付

・件数 12件

(7) 来庁や電話による市政に関する意見の受付

・件数 20件

(8) パブリックコメント

重要な施策の策定過程において、市民の市政に対する意見や提案の機会を確保するとともに、政策決定過程への市民の参画を促進し、市民との協働によるまちづくりの推進を図るため、栃木市パブリックコメント手続条例に基づき、パブリックコメント（市民意見提出制度）を実施した。

・実施件数 9件

シティプロモーション係

1 シティプロモーション業務

(1) シティプロモーション事業

ア 栃木市シティプロモーション計画の第3期行動計画である「Tochigi City

Promotion Creation 3rd」の策定と、シティプロモーションアンケートを実施した。

イ 栃木県誕生150年を記念して、栃木県発祥の地である栃木市の歴史と魅力を発信するため、各種物資を作成し、プロモーションを行った。

・記念冊子（A4版、8ページ） 9,000部

・のぼり旗 100枚

・置型看板（A型 550mm×3,000mm） 1台

ウ 山中に設置されたレスキューポイントを活用し、レスキューポイントの周知や山歩きの安全性の意識づけを図るとともに、太平山等の認知と山歩きの楽しさを実感していただくために、「とち介山歩きラリーin 太平山・晃石山・馬不入山」を実施した。

・実施期間 10月20日（金）～12月19日（火）

・参加者数 514人

エ 市内の山歩きで撮影した写真をSNSを活用して発信する「#栃木市山歩きフォ

トコンテスト」を実施した

- ・実施期間 10月20日（金）～12月26日（火）
- ・応募作品数 19人 101作品

オ 栃木県発祥の地としての歴史を、子供たちに継承することを目的に、「とちぎ市の歴史を学ぼう！『栃木県発祥の地 栃木市』」を実施した。

- ・実施日 3月23日（土）
- ・実施場所 座学：栃木市市民交流センター
ワークショップ：県庁堀周辺

- ・参加者 小学生8人 保護者6人

カ 栃木市の農産物のブランドイメージをより強固にするとともに、農産物をきっかけに栃木市の認知度の向上を図るために、シティプロモーションイベント「いちご市（いち）～栃木市産直いちご直売会～」を開催した。

- ・開催日 3月25日（月）
- ・開催場所 （一財）地域活性化センター 日本橋イベントスペース
- ・協力 農業振興課、いわふねフルーツパーク

（2） 栃木市ふるさと大使

ア 本市の魅力を広く効果的に情報発信することにより、本市の知名度及びイメージの向上を図るとともに市民の一体感及び郷土愛を醸成することを目的とした「栃木市ふるさと大使」制度を設け、全国的に活躍する本市ゆかりの方に委嘱している。

- ・栃木市ふるさと大使 26名（赤荻一也氏、石川恋氏、植野広生氏、上原チョー氏、大谷桃子氏、桂小南氏、菊池優氏、雲田はるこ氏、黒川伊保子氏、小林美貴氏、澤村拓一氏、春風亭柳橋氏、武井沢也氏、寺内崇幸氏、富田晋伍氏、富山貴光氏、蜂須賀孝治氏、冬木れい氏、古川登志夫氏、間中利美氏、茂手木章氏、八津弘幸氏、山田五郎氏、山田昌彦氏、吉川真氏、渡辺俊介氏）

2団体（栃木シティフットボールクラブ、MAGIC OF LiFE）

イ 栃木市ふるさと大使の活動を広く周知するため、広報とちぎ4月号にインタビュー記事を掲載した。（春風亭柳橋氏、雲田はるこ氏）

（3） 栃木市魅力発信特使

ア 新生栃木市10周年を機に、「栃木市魅力発信特使」制度を設け、本市の明るい未来を築いていこうという志を持って、それぞれの分野で市内を中心に活躍し、本市の魅力を積極的に発信している個人及び団体等を認定している。

- ・栃木市魅力発信特使 18名（伊吹和矢氏、遠藤翼氏、遠藤百合子氏、桜祐氏、落合義人氏、神戸明氏、倉持雅代氏、小林由実氏、小林美香氏、坂本絵津子氏、佐沼理衣氏、ShonoMercy氏、高橋由起氏、田代大輔氏、田中潔氏、田村愛氏、山田かし氏、義達祐未氏）

2団体（田村律之助顕彰会、Hello-Coffee）

イ 魅力発信特使に「#栃木市山歩きフォトコンテスト」の審査を依頼し、各賞を決定した。（審査員長：田中潔氏、審査委員：遠藤百合子氏、義達祐未氏人）

2 マスコットキャラクター活用業務

(1) とち介派遣事業

栃木市マスコットキャラクター「とち介」を市主催のイベントや学校行事、キャラクターイベント等に派遣し、とち介及び栃木市のPRと共に市民の一体感の醸成に努めた。

・派遣回数 114回 （市内98回 市外16回） 月平均 約9.5回

(2) デザイン申請・承認手続

とち介のデザインを用いた商品等の、デザイン使用申請の受付及び承認（更新申請も含む）を行った。

・承認件数 114件 （販売品54件 非売品60件）

・商品 手ぬぐい 缶バッジ クリアファイル Tシャツ エコバック 等

(3) とち介公式SNSによる情報発信

各SNSの特徴や、ターゲット層等に着目し、それぞれ使い分けながら、本市の情報等を継続的に発信した。

ア とち介目線のゆるやかな言葉で、本市の情報等を継続的に発信した。

・X（旧Twitter） フォロワー数 13,428人

・Instagram フォロワー数 5,557人

イ スタッフ目線で、より詳細な情報を継続的に発信した。

・Facebook フォロワー数 2,310人

(4) とち介主催事業

とち介を活用し、本市の魅力を積極的に発信するため、各主催事業を実施した。

ア とち介とすごすスペシャルデー

・開催日 4月15日（土）

・開催場所 栃木市観光交流館「蔵なび」、とちぎ山車会館前ひろば

イ とち介とクリスマスの写真を撮ろう!!inとちぎ花センター

・開催日 12月20日（水）

・開催場所 とちぎ花センター

(5) マスコットキャラクター応援基金

マスコットキャラクター活用推進の財源確保のため、栃木市ふるさと応援寄附（ふるさと納税）の「マスコットキャラクター活動支援事業」コースにて寄附を募った。

・受入件数 281件

・受入額 8,368,000円